

「計画」

上田上小学校

令和 8 年度 我が校の学び力向上策

【県目標】第Ⅲ期学び力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

【令和 8 年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】

第4期大津市教育振興基本計画

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

【学校の目標】

- 心豊かに支え合い、生き抜く力をつける

【現状と課題】

○視点1

(1) 全国学力・学習状況調査では、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいか」が、全国より下回っていた。この結果を踏まえ、学習者主体の授業設計を推進し、言語活動の充実さらには協働的な学びを一層深めていく必要がある。

(2) 全国学力・学習状況調査では、「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。」が、全国より下回っていた。この結果を踏まえ、児童が端末を活用し、発表する機会を増やしていく。

○視点2

全国学力・学習状況調査では、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。」が、全国より大きく上回っていた。この結果を踏まえ、引き続き、話し合い活動のOJT研修を行い、全学年が話し合い活動を活発に行っていく。

○視点3

全国学力・学習状況調査では、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。（習い事は除く）」が全国より上回っていた。この結果を踏まえ、引き続き、地域との協働活動の推進を図っていく。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート（児童生徒）「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」 **肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくり ～学習者主体の授業設計～	①授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。【児童生徒質問紙】 肯定的な回答90%以上
②学習の質の向上につながる1人1台端末の効果的な活用	②学校全体として、児童生徒の学びをより深めることを目的に、一人一台端末を効果的に活用することができましたか【情報化リーダーアンケート】 肯定的な回答90%以上

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①安心して学べる居場所づくり ～「笑顔輝く大津の教育を目指して」にもとづく実践と評価～	①先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか【全国学力・学習状況調査】 肯定的な回答90%以上
	①授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてい、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか【全国学力・学習状況調査】 肯定的な回答90%以上

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①特色ある学校づくり～カリキュラム・マネジメント～	①コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか【全国学力・学習状況調査】 肯定的な回答90%以上

◇「学び力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・校園長会議、教頭研修会、教務主任等連絡協議会等で大津市の重点取組事項について共通理解を図る。
- ・研究授業においては、全学年が行い、その都度、講師の先生を招聘し、指導を仰ぎ、授業力向上に務める。
- ・学校夢づくりプロジェクトをはじめとする様々な教育活動の支援を行う。

「報告（前期・後期）」

上田上小学校

※『評価』は評価指標の「目標値」に対する達成率で判定

【 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 】

(例) 目標値が「肯定的な回答80%以上」、結果が「肯定的な回答74%」のとき
結果74%÷目標値80% ⇒ 達成率92.5%→「A」

前期評価

評価	今回の評価に至った要因	後期に予定している取組等 (計画時からの修正を含む)
【視点1】子どもたちが主体の授業づくり		
【視点2】学びを支え合う集団づくり		
【視点3】協働して取り組む学校づくり		

後期評価

評価	今回の評価に至った要因	令和8年度を取組を踏まえて 現在検討している来年度の取組事項
【視点1】子どもたちが主体の授業づくり		
【視点2】学びを支え合う集団づくり		
【視点3】協働して取り組む学校づくり		

